

## 15 梶浦 明日香さん

Asuka Kajiuura

起

北勢

『常若』【三重県で活躍する若手職人のグループ】  
(四日市市) リーダー

業種

伝統工芸職人

事業所

住所：三重県四日市市

URL：http://asukanetsuke.wixsite.com/netsuke

メンバー：6名



### Profile

- ・TV キャスターから伝統工芸職人へ
- ・作品は国内・海外で数々の賞に輝く
- ・職人同士で『常若』『凜九』を結成
- ・日本文化や伝統工芸の魅力を発信中

### 講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他 (伝統工芸の振興・活性化)

### 講演実績

- ・2018年 三重大学「TEDxMieU 2018」  
ゲストスピーカー (TEDxMieU 実行委員会)

## 「私の使命」

### 日本の“三重の” 伝統工芸を未来に繋ぎたい

梶浦さんが三重県の伝統工芸品・伊勢根付に心奪われたのは、NHK のキャスター時代。東海地方各地の伝統工芸を番組でレポートしていた時でした。「伊勢根付の彫りの美しさと、モチーフに込めた粋な遊び心を知りました」。

どの取材先でも後継者不足に悩む声を聞き、梶浦さんも次第に伝統工芸存続の危機感を募らせたといいます。思案の末、伝統工芸職人に転身。国際根付彫刻会前会長の中川忠峰氏に弟子入りし、約9年が経ちました。2018年にはロンドンで開催された日本発のアート公募展『DISCOVER THE ONE JAPANESE ART IN LONDON』に根付作品を出品。約200点もの作品の中から、見事大賞に輝きました。

### リポーター時代の“伝える技術”を活かす

「前職のおかげで視野が広がりました。“伝統工芸の未来のため、今の私に何ができるだろう？”と考えた末、やはり私にできるのは“伝える”ことだと思いました」。

弟子入り2年目の2012年には、浴衣の着こなしや所作の美しさを競う『ゆかたキレイコンテスト』に出場。梶浦さんの目的は、浴衣に根付を合わせる提案でした。この提案が大いに受け、梶浦さんはグランプリを受賞。以降、国内外の着物ショーに招待され、各地で根付の魅力をPRしました。取組は各種SNSでも発信し、情報の拡散を狙います。

「師匠が今も元気に現場を守って下さるので、私は色々なチャレンジができます。前例のない事にも挑戦して、“今できること”に邁進中です」。

## 私流リーダーシップ

### 職人を町へお届け。若手達で出張教室

2012年には、県内の若手職人6人で『常若』を結成。「当時の主な活動は“集まっておしゃべり”でした。職人は孤独です。特に若手には横の繋がりがありません。けれど私は取材を通じて、どこに若手職人がいるか知っていたんです」。

結成においては梶浦さんが声を掛けて回りました。『常若』は高齢化が進む伝統工芸界に現れた新星として、注目を浴びることに。「SNSを通じてワークショップの依頼が来ることもありました。『職人さんって、思った以上に気さくなんですね』なんてお声をいただくことも。「出前OK！」の身近な職人として、メンバーは県内企業や学校などを訪れ、伝統工芸の魅力を伝えるワークショップを開催しています」。

### 夢を語り合い、念願の海外進出も！

伊勢根付/伊勢型紙/伊勢一刀彫り/漆芸の各分野の職人達が集まる『常若』。多忙なメンバーですが、心通わせる時間を大切にしています。「交流にはSNSを活用しています。次の企画についてなど、楽しい夢の話をして盛り上がっていますよ」。

2017年には、6年越しの夢が叶いました。それは伝統工芸を海外の人に伝える活動。マレーシア、香港、ベトナムでワークショップを実施し、「自分達の技術や作品が海外でも受け入れられると肌で感じました」。2017年、梶浦さんは東海地方の若手“女子”職人9人で『凜九』も結成。ここでも新しい風を呼び起こそうと奮闘します。「動かなきゃ！」。職人と仕掛人の2役で、伝統工芸を未来に繋げます。

(取材時：2018年8月)

### こんな講演・相談に対応できます

- 『常若』『凜九』の取組紹介
- 三重県・愛知県の伝統工芸
- 若手職人による工芸ワークショップ
- 小さな団体の広報戦略

### お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課

TEL：059-224-2225

WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは  
こちら

